



軽防協ニュース速報

2019年第4四半期(10月-12月)の伝染病発生状況

2020年2月配信

(International Collating Centre からの情報)

この記事は、2019年第4四半期(10月-12月)の各国の伝染病発生状況の要約したものである。ICC 暫定(リアルタイム)のレポートは <http://jdata.co.za/iccvviewer/> のページ内にある。このレポートに示されているデータには、各国の研究所での検査サンプルや、報告方法に多少のバイアスがあるかもしれないため注意して解釈していただきたい。そのため、これらのデータが必ずしも世界各地における馬の集団内での伝染病発生率を的確に反映しているわけではないことをご了承願いたい。例えば、ある伝染病について発生報告がないからといって、必ずしもその伝染病がその国の中で存在していないということではない。以下の各表は国によって報告された病気の発生件数をまとめたものである。1件の発生で複数症例を含むものがある。

繁殖疾患

発生国	CEM	EHV-1	EHV-4	レプトスピラ症	ネオリケッチア症
デンマーク	1	-	-	-	-
フランス	1	1	2	-	-
ドイツ	1	-	-	-	-
オランダ	-	1	-	-	-
韓国	1	-	-	-	-
アメリカ	-	-	3	1	2

馬伝染性子宮炎 (CEM)

デンマーク

無症状の種雄馬 1 例において交配前検査で陽性が確認された。

フランス

種雄馬 1 例において生殖器スワブから陽性が確認された。

ドイツ

サラブレッド種ではない種雄馬 1 例において生殖器スワブから陽性が確認された。

韓国

2,269 例のうち 3 例が交配時のスワブの PCR によって陽性が確認された。陽性であった馬は交配と移動を制限されている。

馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による流産

フランス

1 例発生し、胎子組織の PCR によって確定診断された。

オランダ

1 例発生し、ワクチン未接種の妊娠 8 ヶ月の繁殖雌馬が流産した。この繁殖雌馬は 3 頭の妊娠馬を含む 9 頭と接触した。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による流産

フランス

2 件発生し、ともに 1 例ずつが流産した。それぞれ胎子組織、胎盤組織の PCR によって確定診断された。

アメリカ

3 例が流産した。

レプトスピラ症による流産

アメリカ

ケンタッキーにて 1 例が流産した。

ネオリケッチア症による流産

アメリカ

ケンタッキーにて 2 例が流産した。

呼吸器疾患

国	EHV-1	EHV-4	EI	ロトウィック・イクイ	腺疫
ベルギー	-	-	-	-	4
フランス	2	41	1	-	21
ドイツ	-	3	1	-	3
日本	-	1		-	-
オランダ	1	5	3	-	12
南アフリカ	1	-	-	-	-
スイス	-	-	-	-	1
イギリス	4	11	3	-	-
アメリカ	1	-	6	2	8

EHV-1 による呼吸器感染症

フランス

2 件発生し、それぞれ 1 例が発症した。鼻咽頭スワブの PCR 法によって陽性診断された。

オランダ

1 例が発症した。臨床症状は発熱であった。鼻咽頭スワブの PCR 法によって陽性診断された。

南アフリカ

1 件、自由州の 1 施設で発生した。

イギリス

4 件の発生。鼻咽頭スワブの PCR 法によって陽性診断された。臨床症状は、発咳、食欲低下、鼻汁、元気消失、発熱。1 例は少し前に移動歴があった症例であり、1 例は新入厩した症例であった。

アメリカ

1 例が発症した。

EHV-4 による呼吸器感染症

フランス

臨床症状は、発咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱。34 件が単独発症例であり、3 件が 2 例、2 件が 3 例、1 件が 5 例、1 件が 10 例の報告であった。ほとんどの症例では鼻咽頭スワブの PCR 法によって陽性診断された。2 例では気管支肺胞洗浄液の PCR 法によって陽性診断された。

ドイツ

1 例が発症した。鼻汁スワブの PCR 法によって陽性診断された。

日本

1件発生し、2例のワクチン未接種馬で発症した。臨床症状は鼻汁と発熱であった。

オランダ

ほとんどの発生が単独発症例であった。1件は5例の子馬で発症し、1件は2例で発症した。

イギリス

ほとんどの発生が単独発症例であった。1件は、32頭の離乳馬群の中での発生で軽度あるいは不顕性の症例であった。2件で3例が発症し、1件で8例の育成馬が発症した。全ての症例は鼻咽頭スワブのPCR法によって陽性診断された。

馬インフルエンザ

フランス

50頭の馬群で発生し1例は確定診断され、他に2例が臨床症状を示した。

ドイツ

1例発症し、臨床症状は発咳、粘液性の鼻汁と発熱であった。

オランダ

1件の発生では、ワクチン未接種の馬1例で確定診断され、さらに20例が臨床症状を示した。もう1件の発生ではワクチン未接種の馬1例で確定診断され他に7例が臨床症状を示した。さらにもう1件の発生では、ワクチン未接種の馬2例で確定診断され、そのうち1例は腺疫も陽性であった。

イギリス

1件の発生では、ワクチン未接種馬1例で確定診断され、さらに2例のワクチン未接種馬が臨床症状を示した。感染した馬のうちの1例は前週に新入厩した馬であった。もう1件の発生では、15頭のワクチン接種群に新入厩したワクチン未接種馬1例で発生した。報告された時点では、他に臨床症状を示した馬はいなかった。もう1件の発生も同様に40頭のワクチン接種馬の群に新入厩したワクチン未接種馬1例で発生した。

アメリカ

ほとんどの発生が単独発症例であった。1件の発生では2例が発症し、1件の発生では新入厩した馬で1例発生し、その馬はEHV-4も陽性であった。

ロドコッカス・エクイ

アメリカ

ロドコッカス・エクイ感染症はアメリカの風土病であり、広く蔓延している。一方で、この第4四半期では2件だけしか発生が報告されていないが、これは真の発生率から大幅に下回っている。

腺疫

国際的に腺疫は多くの国で風土病である。

消化器疾患

国	クロストリジウム腸炎	ロタウイルス
アメリカ	10	6

クロストリジウム腸炎

アメリカ

ケンタッキー州で、ウェルシュ菌毒素 A 型感染症が 10 例報告された。

ロタウイルス性腸炎

アメリカ

3 州でロタウイルス感染症が複数例報告された。2 例が G3 遺伝子型であり、4 例が G14 遺伝子型であった。

神経疾患

国	EEE	EEV	EHV-1 神経型	WNV
ベルギー	-	-	1	-
カナダ	-	-	1	-
フランス	-	-	2	7
ドイツ	-	-	1	3
オランダ	-	-	3	-
ポルトガル	-	-	-	1
南アフリカ	-	1	-	-
アメリカ	22	-	13	16

東部馬脳炎 (Eastern Equine Encephalitis : EEE)

アメリカ

全てが単独発症例であった。大半がワクチン未接種馬であり、死亡もしくは安楽死処置された。

馬脳症 (Equine Encephalosis Virus : EEV)

南アフリカ

1 例が発症した。

EHV-1 による神経疾患

ベルギー

5 例が症状を示した。臨床症状は、発熱、運動失調と麻痺であった。

カナダ

ワクチン接種馬 2 例で報告され、1 例は死亡し、1 例は安楽死処置された。

フランス

1 件の発生では、全血の PCR によって 1 例が陽性診断され、他の 2 例が臨床症状を示した。さらに 1 件の発生では鼻咽頭スワブの PCR によって 1 例が確定診断された。

ドイツ

臨床症状は、発熱、運動失調、膀胱麻痺であった。陽性診断は、鼻咽頭スワブと EDTA 血の PCR によってなされた。

オランダ

1 件の発生では、11 例で症状を示し、2 例が安楽死処置された。2 件の発生では 1 例ずつが報告され、そのうち 1 例が安楽死処置された。

アメリカ

9 件発生し、単独発症例であった。1 件の流行では 4 例の発症、1 件は複数例の発症が報告された。

ウエストナイルウイルス感染症 (WNV)

フランス

1 例が発症した。臨床症状は、沈うつ、食欲不振、発熱、運動失調、不全麻痺、麻痺であった。

ドイツ

全てが単独発症例であった。

ポルトガル

1 件発生し、2 例が発症した。

アメリカ

全てが単独発症例であった。1 例では EEE と WNV が陽性であった。

その他の疾患

国	AHS	EIA	鼻疽	レプトスピラ症	ピロプラズマ	水胞性口炎
ベルギー	-	-	-	2	-	-
フランス	-	2	-	-	-	-
南アフリカ	1	-	-	-	6	-
トルコ	-	-	3	-	-	-
アメリカ	-	2	-	-	-	35

アフリカ馬疫 (AHS)

南アフリカ

AHS の散発例（合計で 5 例未満）は、南アフリカ国内の感染地域である自由州、ハウテン州、北西州で発生している。これらの州での発生は 2019/2020 シーズンでは、国内での最初の報告であった。西ケープ州の AHS 感染地域や AHS 管理地域では AHS は認められなかった。

馬伝染性貧血 (EIA)

フランス

全てが単独発症例であった。そのうちの 1 例では臨床症状として発熱を示した。

アメリカ

全てが単独発症例であった。

鼻疽

トルコ

血清学的スクリーニングが実施され、その中で 63 例が陽性診断され、18 例が陽性を疑われた。全ての陽性例と擬陽性例が安楽死処置された。

レプトスピラ症

ベルギー

全てが単独発症例であった。

ピロプラズマ病

南アフリカ

ピロプラズマは南アフリカの風土病である。散発的に国中で報告されている。

水胞性口炎

アメリカ

水胞性口炎（インディアナ亜型）は 8 州（コロラド、カンザス、ネブラスカ、ニューメキシコ、オクラホマ、テキサス、ユタ、ワイオミング）で確認された。35 件の発生のうち、29 件が 10 月に、6 件が 11 月に発生した。11 月末からは新たな発生は確認されていない。